

京都芸術劇場ニユースレター

市川猿之助 企画

市川猿之助・芸術監督復帰を記念して

春秋座歌舞伎舞踊公演

2009年4月11日(土)

会場 京都芸術劇場 春秋座
料金(全席指定)

昼の部 12時30分開場 13時開演
夜の部 16時30分開場 17時開演
※昼夜同演目です。

主催 京都造形芸術大学
制作 株式会社おもだか

一般 8000円
シニア 7500円
学生&ユース席 2000円
京都芸術劇場友の会 7000円

二〇〇九年四月、歌舞伎役者の市川猿之助が京都芸術劇場の芸術監督に復帰いたします。

京都芸術劇場は、京都造形芸術大学にて歌舞伎の実技を教えていた市川猿之助の、大学内に歌舞伎を上演出来る本格的な劇場を作りたいたいという強い希望のもと実現した劇場です。京都芸術劇場「春秋座」の名は、『史記』の「春秋に富む」という言葉からとられたもので、若さに溢れ将来性ある若者を育成したいという願いがこめられています。

市川猿之助は京都芸術劇場の初代芸術監督に就任し、二〇〇一年五月春秋座の柿落しては坂東玉三郎氏を迎え、自身の出演・演出に

より『日本振袖始』を上演し、大きな反響を呼びました。

一度は体調不良のため芸術監督から離れたましたが、スーパー歌舞伎で一連の衣装を担当した毛利臣男が芸術監督を引き継ぎ、市川猿之助の想いを春秋座に根付かせてきました。このたびの芸術監督復帰にあたり、市川猿之助率いる二一世紀歌舞伎組の人氣若手俳優を迎え、歌舞伎舞踊公演を開催いたします。進化したつづける市川猿之助の企画のもと、どのような舞台が春秋座で繰り広げられるか。どうぞお楽しみください。

演目・出演

長唄『二人椀久』

出演 椀久 市川段治郎
松山 市川笑也

長唄『浦島』素踊り

出演 藤間勘世

長唄『望月』

出演 小沢刑部友房 市川右近
安田庄司の妻 市川笑也
一子花若 藤間爽子
従者 市川寿猿
望月左衛門秋長 市川段治郎

長唄—杵屋勝四郎社中 鳴物—田中傳次郎社中



市川笑也



市川段治郎



市川右近

◎市川右近インタビュー

まず、師匠である市川猿之助の芸術監督復帰を大変喜んでおります。今後のますますのご活躍を心より期待しております。

『望月』は「大望月(おおもちづき)」とよばれる長唄の大曲。舞踊ですが、華やかでドラマチックな展開の敵討の作品。花道も使いますので、お客様は舞踊というよりお芝居をみている感覚をもたれるんじゃないかな。師の猿之助が得意とした演目で、長袴で獅子舞を踊る、という猿之助が歌舞伎舞踊として復元した珍しい要素も入っています。私は、九四年の市川右近の会で初演し、昨年の紫派藤間流舞踊会に続いて、今回が三回目です。演じることの魅力を感じる演目ですので、どうぞお楽しみに。久々の春秋座公演。歌舞伎に適した、多様性のある素晴らしい劇場です。京都のお客様にお会いできるのをとても楽しみにしています。

公開講座 映像十トーク—2009—2010年

渡邊守章の仕事 テクストと身体

—その演出作品を通して—



ジュネ作『女中たち』(本木雅弘、大浦みずき出演、シアターX、1995年) 撮影:宮内勝

現代演劇において、身体表現や空間造形と並び、根本的な変革を求められているものに、「言葉」の問題があります。西洋近代の台詞劇に対する根底的な批判作業の地平で、日本の伝統演劇における「語り」としての「言葉」のあり方が、その身体的な力や音楽的強度により、新しい演劇言語の可能性を拓くものとして、現在、世界的に注目されています。

本シリーズは、本学舞台芸術研究センター教授・演出家である渡邊守章が、「身体性のある言葉の演劇」として追究する(台詞)〈身体〉(舞台空間)の関係を、渡邊作品の映像記録を見ながら、毎回ゲストを招き、「テキストと身体」の関わりについて論じていきます。

共催—京都造形芸術大学大学院 舞台芸術学科
協力—空中庭園

各回16時30分開演 会場—本学映像ホール
料金—無料(要事前申込/申込先:京都造形劇場チケットセンター)

■前期

4月21日(火)

ジュネ作『女中たち』

(本木雅弘、大浦みずき、青山良吉出演、シアターX、1995年)

5月19日(火)

ジュネ作『バルコン』

(篠井英介、小田豊、西牟田恵他出演、世田谷パブリックシアター、2001年)

6月9日(火)

ラシーヌ作『悲劇フェードル』

(後藤加代、平栗あつみ他出演、1999年、ラシーヌ生誕300年記念公演、パリ日本文化会館)

7月7日(火)

ミュッセ作『ロレンザッチョ』

(堤真一、杉本哲太、辻萬長、磨赤児、後藤加代他出演、銀座セゾン劇場、1993年)

7月9日(火)

ジュネ作『アガタ』

(高橋由美子主演、青山田形劇場、1998年)

9月上旬

デラス作『アガタ』

(高橋由美子主演、青山田形劇場、1998年)

10月上旬

泉鏡花作『天守物語』

(後藤加代、平栗あつみ出演、パリ日本文化会館、1998年)

11月上旬

三島由紀夫作『サド侯爵夫人』

(剣幸、峰さなを理、後藤加代出演、枚方市市民ホール、ヨーロッパシアター凱旋公演、1996年)

12月上旬

クローデル作『真昼にみかづき』

(後藤加代、佐古雅彦出演、演劇集団「PARLER」E、1998年)

2010年1月中旬

渡邊守章作『内濠十二景、あるいは二重の影』

(観世榮夫、野村萬斎出演、京都造形芸術大学春秋座、2001年)

2010年2月下旬

能ジャンクシオン『葵上』

(観世榮夫、野村武司主演、PARLER、1997年)

2010年2月下旬

能ジャンクシオン『葵上』

(観世榮夫、野村武司主演、PARLER、1997年)



■後期(ゲストは現時点では交渉中)

9月上旬

ジュネ作『アガタ』

(高橋由美子主演、青山田形劇場、1998年)

10月上旬

泉鏡花作『天守物語』

(後藤加代、平栗あつみ出演、パリ日本文化会館、1998年)

11月上旬

三島由紀夫作『サド侯爵夫人』

(剣幸、峰さなを理、後藤加代出演、枚方市市民ホール、ヨーロッパシアター凱旋公演、1996年)

12月上旬

クローデル作『真昼にみかづき』

(後藤加代、佐古雅彦出演、演劇集団「PARLER」E、1998年)

2010年1月中旬

渡邊守章作『内濠十二景、あるいは二重の影』

(観世榮夫、野村萬斎出演、京都造形芸術大学春秋座、2001年)

2010年2月下旬

能ジャンクシオン『葵上』

(観世榮夫、野村武司主演、PARLER、1997年)

「語りの系譜(1)」

樋口葉作『たけくらべ』 出演—後藤加代

2009年6月13日(土) 13時/17時開演

14日(日) 14時開演

会場—京都造形劇場 studio 21

料金(全席自由)—一般2000円 学生1000円

※当日は500円増 京都造形劇場友の会 1800円

渡邊演出により鍛えられてきた後藤加代の「語り」は、昨年、春秋座で行われた能ジャンクシオン『當麻—折口信夫「死者の書」による』、朗読オラトリオ『繻子の靴』(抄)でもみられるように、現在の日本で最もインパクトのある成果として高い評価を受けてきました。

今回は、その後藤加代による日本語の音声的・身体的・演劇的可能性を探るための「語り」シリーズ第一弾。この舞台と共に、「テキストと身体」のラシーヌ『悲劇フェードル』の映写会鑑賞もおすすしめします。



「語り」シリーズ「死者の書」による

表象文化論学会春季大会開催記念

『井上八千代 京舞の会』

2009年7月4日(土) 16時開演予定

会場—京都造形劇場 春秋座

料金—一般非会員1500円 学生500円

学生会員無料 京都造形劇場友の会1000円

京舞—井上八千代 パネリスト—渡辺保

本学教授・渡邊守章、森山直人が主要メンバー

を務める、表象文化論学会の年次大会。

三つの芸能で楽しむ

〈お軽・勘平〉

2009年6月27日(土)

14時30分開場 15時開演

会場 京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定) 一般5000円(当日5500円)

学生&ユース2000円(当日2200円)

京都芸術劇場友の会 4800円(当日5000円)

企画 田口章子

(京都造形芸術大学芸術学部教授・舞台芸術研究センター主任研究員)

美男美女のカップル(お軽・勘平)は、『仮名手本忠臣蔵』に登場する人気者。今回はふたりの逃避行がはじまる『足利館裏門』をとりあげ、三つの異種芸能による比較上演でお楽しみいただきます。

三つの芸能とは

「義太夫節」―『仮名手本忠臣蔵三段目裏門の段』

「歌舞伎舞踊」―『道行旅路の花婿』(通称「落人」)

「万歳」―『足利館裏門』

原作は人形芝居で、純情可憐な恋に生きたるお軽と勘平が人目を忍んで落ちてゆく場面を義太夫節で語り聞かせます。歌舞伎はそれを『道行』仕立てに舞踊劇化。『万歳』は芝居仕立ての『三曲万歳』により、みごとにお軽勘平の世界を描き出します。

義太夫節は新進気鋭の若手、舞踊は歌舞伎役者を家元とする坂東流の女師匠たちによる競演です。特に意義深いのは『万歳』。今回上演する『足利館裏門』は、尾張万歳が伝承してきた『三曲万歳』の貴重な演目で、『三曲万歳』自体三十年ぶりの上演となります。

【主催・お問合せ】

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
電話 075・791・9437

京都造形芸術大学 二〇〇九年度公開連続講座 日本芸能史

特別企画「はじめての日韓比較芸能史」韓国芸術総合学校交流記念

【前期】全12回

2009年4月13日―7月6日

【後期】全12回

2009年10月5日―2010年2月1日

毎回月曜日 16時20分―17時40分

会場 京都芸術劇場 春秋座

受講料 各期12000円

コーディネーター 田口章子

(京都造形芸術大学芸術学部教授・舞台芸術研究センター主任研究員)

※都合により、講師が変更になる場合があります。予めご了承ください。
※この講座は、舞台芸術研究センターのコーディネートによって、本学の授業を一般公開するものです。

◆前期

4月13日 総論 日本と韓国の芸能

獅子の呪力

4月20日 韓国の獅子舞 実演

4月27日 日本の獅子舞 実演

5月11日 韓国のシャーマニズム 理論

5月18日 韓国のムンダン 実演

5月25日 日本の巫女 理論

6月1日 日韓シャーマニズムと舞踊 理論

神々が舞う

6月8日 舞楽(高麗楽) 実演

6月15日 韓国(朝鮮)舞踊 実演

6月22日 日本舞踊 実演

6月29日 朝鮮通信使と芸能 理論

日朝の交流

7月6日 唐人踊り 実演

10月5日 総論 韓国の祭礼

神の声を家々に届ける

10月19日 韓国の門付け芸 理論

10月26日 日本の門付け芸 尾張万歳 実演

神に代わって語る

11月9日 日韓の語り物芸 理論

11月16日 韓国のパンソリ 実演

11月30日 義太夫 実演

神霊が動き出す

12月7日 淡路人形浄瑠璃 実演

12月14日 韓国の人形芸と仮面芸 理論

12月21日 能 実演

土地の神霊を動かす

1月18日 韓国の農楽 実演

1月25日 日本の田囃子 実演

2月1日 日韓伝統芸術交流史 実演

ルーツを探ろう!

二〇〇九年度のテーマは日本と韓国の比較芸能史。日本の芸能のルーツを探るために、アジアの視点で芸能の歴史に挑戦します。海の彼方から列島にうち寄せた芸能の波は、日本の芸能にどのような影響を与えたのでしょうか。三千年の時をこえて日本と韓国の芸能交流の歴史を体験することで、新しい世界がみえてくるはずですよ。

独自の視点でコーディネーターとした、体験する芸能史。春秋座でのこの貴重な機会を、どうぞお見逃しなく。

◆後期

10月5日 総論 韓国の祭礼

神の声を家々に届ける

10月19日 韓国の門付け芸 理論

10月26日 日本の門付け芸 尾張万歳 実演

神に代わって語る

11月9日 日韓の語り物芸 理論

11月16日 韓国のパンソリ 実演

11月30日 義太夫 実演

神霊が動き出す

12月7日 淡路人形浄瑠璃 実演

12月14日 韓国の人形芸と仮面芸 理論

12月21日 能 実演

土地の神霊を動かす

1月18日 韓国の農楽 実演

1月25日 日本の田囃子 実演

2月1日 日韓伝統芸術交流史 実演



【お問合せ】
京都造形芸術大学 瓜生山エクスナシオンセンター
電話 075・791・9124

『舞台芸術』15号

2009年3月下旬頃発売!

定価 2100円(税込)

【シンポジウム採録】

他者の言語、異境の身体―『ディクテ』上演をめぐる
西成彦+池内靖子+チヨンヨンドク+高山明+
松田正隆+八角聡仁
元禄上方和事の復元をめぐる
坂田藤十郎+中村龍雀+藤舎呂船+諏訪春雄+田口章子
『夕霧七年忌』上演台本/諏訪春雄

渡邊守章ほか

小林昌廣、松岡心平、戸谷陽子、三浦基、

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

渡邊守章ほか

【戯曲】 エルフリーデ・エリネク『雲家』
訳・解題 林立駒 エッセイ 高山明 川村毅

115号セット: 28000円(税込)

バックナンバーも好評発売中。各号21000円(税込)

【お問合せ・申込み先】 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

電話 075・791・9437

電話 075・791・9437

電話 075・791・9437

電話 075・791・9437

電話 075・791・9437

京都造形芸術大学 舞台芸術学科

「十年目」の開幕へ――

今年、この大学で舞台芸術教育のための学科がスタートしてからちょうど十年目にあたります。二〇〇〇年四月に発足した「映像・舞台芸術学科」は、七期生(最終学年)がいよいよ卒業制作に着手しようとしており、また、二〇〇七年の学科再編で誕生した「舞台芸術学科」の一期生もいよいよ三回生として、将来の進路を見極めようとする大切な節目を迎えています。

この大学の舞台教育の特色は、学生ひとりひとりが、伝統から現代まで、あらゆるジャンルの舞台芸術を、ほんものの「劇場」を通して体験しながら、自主的に自分の進むべき道を選びとり、自分たちの力でほんものの「劇場」を使った卒業制作作品を作りだすことにあります。「十年目」の今年、そうした蓄積を堅持しつつ、さらにその先へと向かうために、「演技演出コース」「ダンスコース」「舞台デザインコース」を新設し(いずれも二〇〇九年度生から)、「舞台芸術研究センター」や「大学院」と連携しながら、いっそう立体的で実践的な教育活動を展開していくこととする最初の年になります。

◆「学科」「大学院」「研究センター」の本格的な連携

学科、大学院の通常のカリキュラムに加えて、舞台芸術研究センター主催の上演プロジェクトの一部を、学年横断型の特別授業として、より高度で実践的な「現場」に触れる場として活用します。たとえば、今年七月初旬に上演予定の演劇公演「路上」(会場―京都芸術劇場 studio21)では、すべての学年や卒業生を対象としてオーディションを実施し、それに通過した人を、学科長の川村毅の指導のもとで、プロの俳優と共演する場が提供されます(選考はすでに終了)。同様のプロジェクトは、「ダンス」や「舞台デザイン」の領域でも今後企画される予定です。

◆授業発表公演

これまで行われてきた二〜三回生の授業発表公演は、川村毅クラス(三回生)、伊藤キムクラス(三回生)、渡邊守章クラス(二回生)で実施予定です。

◆大学院生・卒業生の活躍

昨年も、三期卒業生のきたまりさんが、コンテンツポラリー・ダンスの全国的な登竜門である「トヨタ・コレオグラフィール・アワード」でオーディエンス賞を獲得したり、修士課程在籍中の木ノ下裕一さんの「木ノ下歌舞伎」が、『ダンスマガジン』の劇評で高い評価を受けるなど、卒業生や大学院生の活躍にはめざましいものがありました。今年もまた、博士課程在籍中の杉原邦生さんが、東京の代表的な小劇場での演劇祭ディレクター(こまばアゴラ劇場「サミット」として、すでにこの二月から活動しています)。

文責―森山直人 舞台芸術学科副学科長

◆フェスティバル／トーキョーへの参加

これまで学科の授業発表作品は、二〇〇五年六月にワルシャワで招待上演が行われたことがありましたが(太田省吾クラス「小町風伝」)、この度はじめて東京で上演が実現します。「フェスティバル／トーキョー」は、東京オリンピック招致活動の一環として今年からスタートする新しい舞台芸術祭で、国内・海外合わせて十九の演目ががひしめく大規模なフェスティバルです。そのなかの企画「演劇／大学 ○九春」に、近畿大学、桜美林大学、東京藝術大学の作品とならんで、山田せつ子クラス(三回生)のダンス作品『その娘は翔ぶ娘ではないにしても』(二〇〇九年一月初演)が正式招待されました。

公演スケジュール

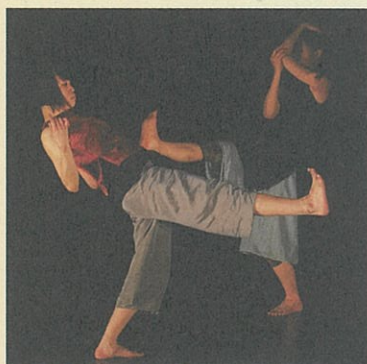
「舞台芸術ⅧB」クラス発表作品

『その娘は翔ぶ娘ではないにしても』

コンセプト提示・構成―山田せつ子 振付・出演―映像・舞台芸術学科学生

2009年3月25日(水)・26日(木) いずれも13時開演

会場―東京芸術劇場小ホール1(東京・池袋)



2009年1月 studio21 公演より



寺内タケシとブルージーンズ キャンパスコンサート

2009年4月19日(日)

13時30分開場 14時開演

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金(全席指定)——

一般3500円 シニア3000円
学生&ユース席(範囲指定あり)1000円
京都芸術劇場友の会 2800円

エレキの神様、寺内タケシが春秋座に登場！

六〇年代、全国で流行したエレキギターは、不良の元とみなされ、各地の高校でエレキ禁止令が出たほどでした。エレキの元祖である寺内タケシは、「それから俺がエレキの良さを知らしめる！」と決意し、一九七四年から各中学・高校をめぐる「スクールコンサート」を開始しました。三十余年にわたり開催されたこのコンサートは、百万を超える学生たちに感動を与え、現在も続けられています。



寺内タケシ

今回は、舞台を大学に変え「キャンパスコンサート」と銘打ちお送りします。レパートリー七千曲を超える誇る名人の演奏をどうぞお楽しみ下さい。

【主催・お問合せ】 京都造形芸術大学 劇場企画運営室 電話075-791-8199

アトリエ・ダンカンプロデュース 『夜は短し歩けよ乙女』

2009年4月23日(木)

18時開場 18時30分開演

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金(全席指定)——

一般7500円 シニア7000円
学生&ユース席(範囲指定あり)2000円
京都芸術劇場友の会 6500円

原作——森見登美彦(角川書店刊)
脚本・演出——東憲司(劇団戯敷童子)
出演——田中美保・渡部豪太・ベンガル・辺見えみり
綾田俊樹・西村直人・高山都・宮菜穂子
原口健太郎・板垣桃子 他

雑誌『ヴィンチ』のBOOK OF THE YEAR
二〇〇七年一位、第二十回山本周五郎賞、二〇〇七年本屋大賞を受賞。京都を舞台にした大ヒット小説の舞台化作品。

京都でのある一年を、あるいは四季を通して語られる、いまだときの若者と程遠い、なんともじれつたい恋の物語。そして、京都という不可思議な街と奇々怪々な登場人物達が物語に花を添えます。



田中美保

渡部豪太

ミュージカル・レビュー 『DOWNTOWN FOLLIES Vol.6』

2009年5月2日(土)

16時30分開場 17時開演

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金(全席指定)——

一般7000円 シニア6500円
学生&ユース席(範囲指定あり)1500円
京都芸術劇場友の会 6000円

出演——島田歌穂・玉野和紀・香寿たつき・吉野圭吾
構成・演出——高平哲郎
音楽監督——島 健
演奏——DOWNTOWN FOLLIES管弦楽団
企画制作——K LINKS

二〇〇二年にスタートした人気ミュージカル・レビュー『DOWNTOWN FOLLIES』の第六弾。四人だけの出演者で繰り広げられる魅惑の世界。今回は、元宝塚男役トップスター香寿たつきを迎え、よりパワフルにスタイリッシュにお届けします。濃厚でスパイスの効いたショータイムをじっくりお楽しみ下さい。



島田歌穂

香寿たつき

玉野和紀

吉野圭吾

アトリエ・ダンカンプロデュース 『鴨川ホルモー』

2009年6月24日(水)

18時開場 18時30分開演

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金(全席指定)——

一般6000円 シニア5500円
学生&ユース席(範囲指定あり)2000円
京都芸術劇場友の会 5000円

原作——万城目学著(産業編集センター刊)
脚本・演出——鄭義信
出演——石田卓也・芦名星・中川真吾
秋山奈々 他

京都を舞台にした大ヒット小説の舞台化作品第二弾。たつぶりの普遍性を取り込み、熱を帯び勢いを増す物語。ただただ青春。されども青春。



石田卓也 中川真吾 芦名星 秋山奈々

脚本・演出には、二〇〇八年舞台『焼肉ドラゴン』で第八回朝日舞台芸術賞グランプリを受賞し、映画『岸和田少年愚連隊』『愛を乞う人』『OUT!』『血と骨』などの脚本で知られる鄭義信。原作の持つ奇想天外なアイデアを鄭の繊細かつ丁寧な演出で完全舞台化。

日時	催し物・会場	チケット販売	チケット取り扱い
4月 11日(土) 13:00 17:00	市川猿之助企画 市川猿之助・芸術監督復帰を記念して 春秋座歌舞伎舞踊公演	【発売中】 一般 8,000円 シニア 7,500円 ※全席指定 学生&ユース席 2,000円 友の会 7,000円	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 391-865 新聞 KBS 生協
19日(日) 14:00	寺内タケシとブルージーンズ キャンパスコンサート	【発売中】 一般 3,500円 シニア 3,000円 ※全席指定 学生&ユース席 1,000円 友の会 2,800円	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 310-083 新聞 音協 KBS 生協
23日(木) 18:30	アトリエ・ダンカンプロデュース 『夜は短し歩けよ乙女』	【発売中】 一般 7,500円 シニア 7,000円 ※全席指定 友の会 6,500円 ※学生&ユース席は完売いたしました。	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア □電子チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 391-866 新聞 KBS 生協
5月 2日(土) 17:00	ミュージカル・レビュー 『DOWNTOWN FOLLIES Vol.6』	【発売中】 一般 7,000円 シニア 6,500円 ※全席指定 学生&ユース席 1,500円 友の会 6,000円	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 391-494 新聞 音協 KBS 生協
6月 13日(土) 13:00 17:00 14日(日) 14:00	「語りの系譜(1)」 樋口一葉作『たけくらべ』	【4/8(水)発売開始】 一般 2,000円(当日 2,500円) ※全席自由 学生&ユース 1,000円(当日 1,500円) 友の会 1,800円(当日 2,300円)	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア
24日(水) 18:30	アトリエ・ダンカンプロデュース 『鴨川ホルモー』	【3/17(火)発売開始】 一般 6,000円 シニア 5,500円 ※全席指定 学生&ユース席 2,000円 友の会 5,000円	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 392-982 新聞 KBS 生協
27日(土) 15:00	三つの芸能で楽しむ (お軽・勘平)	【4/13(月)発売開始】 一般 5,000円(当日 5,500円) ※全席指定 学生&ユース 2,000円(当日 2,200円) 友の会 4,800円(当日 5,000円)	□京都芸術劇場チケットセンター+オンラインチケットストア □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 393-773

公開連続講座 日本芸能史「はじめての日韓比較芸能史」 公開授業—前期12,000円(全12回分) □京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター—TEL.075-791-9124 (平日9時-17時/土曜9時-16時)

4月 13日(月) 16:20	総論 日本と韓国の芸能 諏訪春雄	6月 1日(月) 16:20	日韓シャーマニズムと舞踊(理論) 諏訪春雄
20日(月) 16:20	韓国の獅子舞(実演) 孫炳萬 他 解説:崔昌柱	8日(月) 16:20	舞楽(高麗楽)(実演) 天王寺楽所雅亮会 解説:木戸敏郎
27日(月) 16:20	日本の獅子舞(実演) 別所西獅子舞	15日(月) 16:20	韓国(朝鮮)舞踊(実演) 褒梨花
5月 11日(月) 16:20	韓国のシャーマニズム(理論) 崔吉城	22日(月) 16:20	日本舞踊(実演) 坂東温子 聞き手:田口章子
18日(月) 16:20	韓国のムードン(実演) 徐溶錫 他 解説:梁性玉	29日(月) 16:20	朝鮮通信使と芸能(理論) 仲尾宏
25日(月) 16:20	日本の巫女(理論) 川島秀一	7月 6日(月) 16:20	唐人踊り(実演) 牛頭天王社 解説:和田佐喜男

の表記は右記を 新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)—TEL.075-256-0007(窓口のみ/10-17時 ※土・日・祝除く) KBS KBS京都プレイガイド—TEL.075-431-8300(10-17時 ※月・祝除く) 音協 京都音協プレイガイド—TEL.075-211-0261(10-18時30分 ※日・祝除く) 生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

チケット取扱い欄にオンラインチケットストアの表記がある公演は、劇場ホームページよりチケットがご購入いただけます。 ※要会員登録(無料)
パソコンから <http://www.k-pac.org/theatre/> 携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースとは、25歳以下対象 *シニアとは、60歳以上対象 *京都芸術劇場友の会割引は劇場窓口のみ取り扱い *学生・ユース・シニアは要身分証明書

cover、inside は、表紙または中面に詳細が掲載されています。 春 春秋座公演 S studio 21 公演

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター
tel. 075 791 8240

営業: 平日10:00-17:00 公演開催日

京都造形芸術大学 京都芸術劇場
春秋座・studio 21

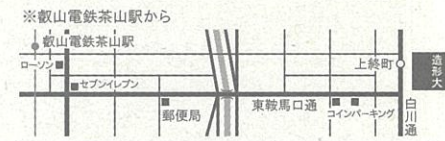
606 8271 京都市左京区北白川瓜生山 2 116

tel. 075 791 9207 fax 075 791 9438

<http://www.k-pac.org/>

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
tel. 075 791 9437

※住所・ファックス番号・URLは京都芸術劇場と同一



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

● 京阪電鉄出町柳駅から
叡山電鉄に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場は
お断りします。



劇場オンラインチケットストア